

令和7年度 第1回 浜松市立鹿玉中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 令和7年4月22日(水) 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 浜松市立鹿玉中学校 図書室
- 3 出席委員 澤木達治、渡邊剛一、鈴木斉、仲山句子、阿部永、西尾孝治、
守田亜紀、入戸野元張(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 黒飛三千子
- 5 オブザーバー 椛通安(鹿玉協働センター)
- 6 学 校 杉浦有美子(校長)、鈴木亮(教頭)、下田由実(教務主任)、
新川優子(CS ディレクター)、太田賢(2学年主任)、
小栗純子(3学年主任)、米山敦子(発達支援学級主任)、
宗龍二(生徒指導)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 新川優子(CS ディレクター)
- 9 協議事項
(1)令和7年度学校運営の基本方針および教育課程について
(2)浜松市立鹿玉中学校いじめ防止基本方針について
(3)学校支援ボランティアについて
(4)生徒会活動について
(5)職場体験について
(6)「夢育やらまいか事業に対する意見書」について

10 会議の記録

授業参観をした後、会議を開始した。

鈴木教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり過半数に達しているため、浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という。)第14条第2項の規定により、会議が成立している旨の報告があった。熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶、委員の自己紹介、守田委員への任命書の交付を行った。また、前年度第4回学校運営協議会の議事内容と自己評価の確認、令和7年度の目標の確認を行った。

(1)令和7年度学校運営の基本方針について

杉浦校長より本年度の経営方針が説明された。昨年度からの変更点として、発達支援学級が増設されたこと、始業式と入学式を別日にしたことゆとりを持った新年度のスタートが切れたことの報告があった。当面の課題としては、ネット関連の問題、防災活動への参加率の増加が挙げられた。成績書の作成は、3年生は3回、1・2年生は2回。制服の検討が課題である。

○防災活動への参加率を上げるために予め中学生が参加する活動を設定しておくよ。(仲山委員)

●制服を変更するのか。(澤木会長)

○時代に合わせて様々な生徒に対応できるように変更がいいか、そうでないかも含めて検討したい。コスト面での問題がある。特に小規模での変更はコストが掛かる。(杉浦校長)

次に、教務主任の下田教諭から年間行事が説明された。今年度は10月10日までを前期、10月14日からを後期に設定。

○1・2・3学期はあるか。(澤木会長)

●あるが、前期と後期で活動を進める。(下田教諭)

○市の決まりで1・2・3学期を設定することになっている。(杉浦校長)

(2)浜松市鹿玉中学校いじめ防止基本方針について(生徒指導)

生徒指導の宗教諭より本校の状況について説明。いじめには未然防止、早期発見・早期対応を目指し、複数で対応していく。Coco ルームの成果はあるように感じている。

その他、交通マナーや SNS の問題にも取り組む旨の説明もあった。

○不登校生徒数が思ったより少ない。(澤木会長)

●Coco ルームでは何をするのか。(守田委員)

○基本は自学自習。空き時間の教諭が授業することもある。(宗教諭)

●校外学びの教室はどこにあるか。(澤木会長)

○かやのき教室。火～金曜に開校。(宗教諭)

●いじめはいじめ側の問題があるのが大部分と言われている。いじめと認識していない場合があるので、いじめた側に認識させる必要がある。いじめアンケートの質問にいじめたことがあるかの項目を入れたらどうか。(渡邊副会長)

(3) 学校支援ボランティアについて(杉浦校長)

学校支援ボランティアに興味のある大学生がいれば是非受け入れたい。

(4) 生徒会活動について(生徒会役員)

生徒会役員より前期生徒会基本方針、活動計画について説明。本校生徒について2つ改善点があると指摘。家庭学習をする習慣がない、特定の人と過ごすことが多いという2点が挙げられた。

○団対抗の活動があるが、「団」とはどのようなものか。(仲山委員)

●縦割りのクラスが集まった4つのグループ。学年ごとにクラス数が異なるので、団対抗の活動では平均値で競う。(生徒会役員)

○団対抗あいさつフェスティバルの実施方法について聞きたい。(澤木会長)

●朝、生徒会執行部が昇降口に立ち、あいさつの声の大きさ、アイコンタクト、会釈の3点で評価し、ポイントを与えて競う。期間を決めて実施。(生徒会役員)

(5) 職場体験について(入戸野コーディネーター)

今年度は11月19日と20日に計画。昨年度と同じところを中心をお願いする。早めに連絡を入れたところは、実施までの期間が空いてしまうので8月頃に学校から一報入れてほしい。

(6) 「夢育やらまいか事業に対する意見書」について(鈴木教頭)

「翔輝祭」の合唱練習での専門家による指導、キャリア教育での講話を考えている。

これについて、委員全員意義なく承認した。

11 その他報告事項等

・鹿玉協働センター

○協働センターでは、部活のない放課後や週末に生徒たち居場所となるものを考えてくれている。(杉浦校長)

●講師のことなど検討している。報告できるようになったら報告したい。(椀オブザーバー)

・今後の予定

司会から、次回会議は、令和7年7月14日(月)13時30分から開催する旨の報告があった。